

## 物件目録 一

### 一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、押出容器を装着して保持するための容器保持部4aが設けられた孔付水平台4を示す平面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し押出容器を着脱するために、前記孔付水平台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第4図は、前記孔付水平台4の容器保持部4aの上方に対置された押圧部材5を示す破断部を含む要部拡大斜視図である。

第5図(a)および第5図(b)は、前記押圧部材5を上下動させる駆動部6の構成と、押圧部材5の動作とを概略的に示す要部説明図である。

## 二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー1は、押出容器に充填された一回量分のソフトクリーム状食品を喫食用容器内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付水平台4（第1図）と、該孔付水平台4の上方に位置する押圧部材5（第4図および第5図(a)(b)）とを備えている。

(2) 前記孔付水平台4には、押出容器の外形に即した凹部形状を有する容器保持部4aが設けられている。容器保持部4aの底部中央には、押出容器から押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路4bが形成されている（第2図および第5図(a)(b)）。

また、孔付水平台4は、容器保持部4aを水平姿勢に保つ通常位置と、通常位置から一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構成となっている。これにより、孔付水平台4を前傾させると、容器保持部4aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4aに対して

押出容器を着脱することができる（第3図）。

(3) 前記押圧部材5は、前記通常位置にある孔付水平台4の上方であって、容器保持部4aに対向する位置に同心状態で配され、容器保持部4aに対して垂直方向に沿う上下動を行い得るように構成されている。

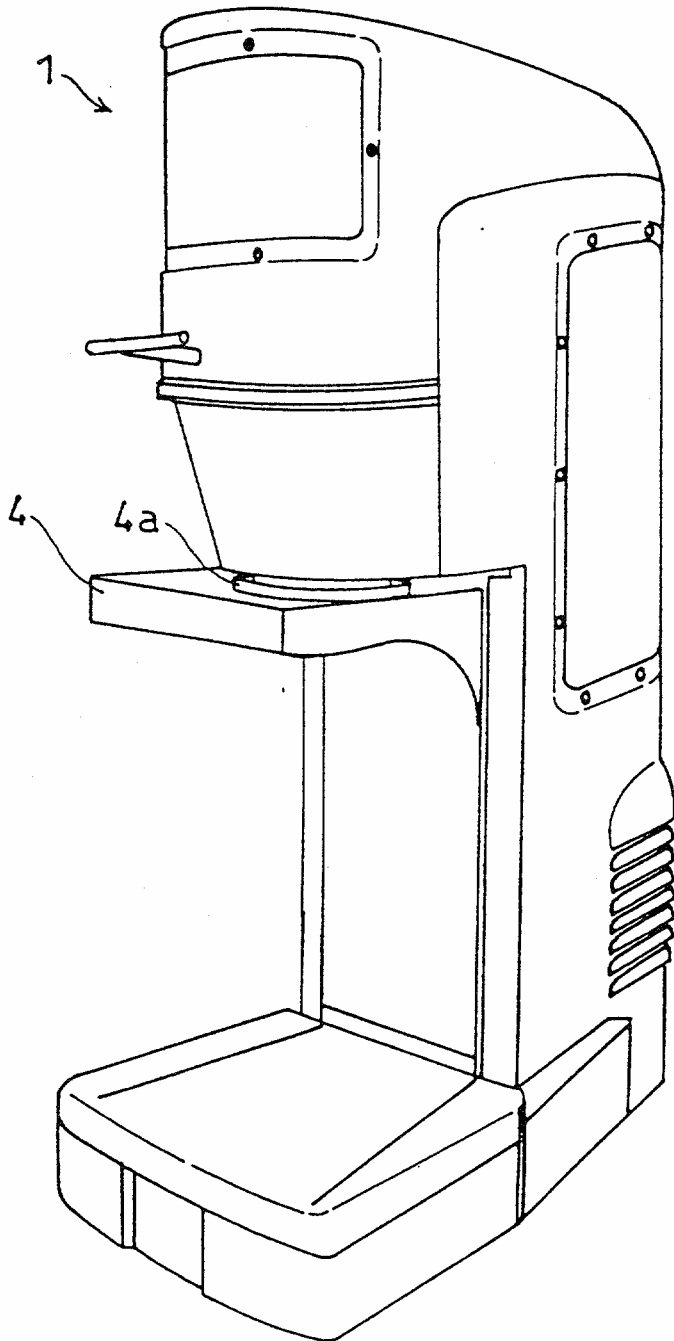
これにより、孔付水平台4と押圧部材5の垂直方向に沿う相対的接近運動の一形態として、押圧部材5が下降すると、押圧部材5の下面が押出容器に当接する。さらに、押圧部材5が下降すると、押出容器2の内容積が圧縮される（第5図(b)）。この結果、ソフトクリーム状食品は、押出容器の圧縮に伴って、押出食品通路4bを通過し、下方で待機していた喫食用容器内に押し出される。

(4) なお、押圧部材5を上下動させる駆動部6は、駆動ロッド6a、プランジヤ16bおよびシリンダ6cを備えている。駆動ロッド6aは押圧部材5の中心から容器保持部4aに対して垂直上方に延び、シリンダ6c内に嵌入している。また、駆動ロッド6aの上端には、シリンダ6c内で滑動するプラ

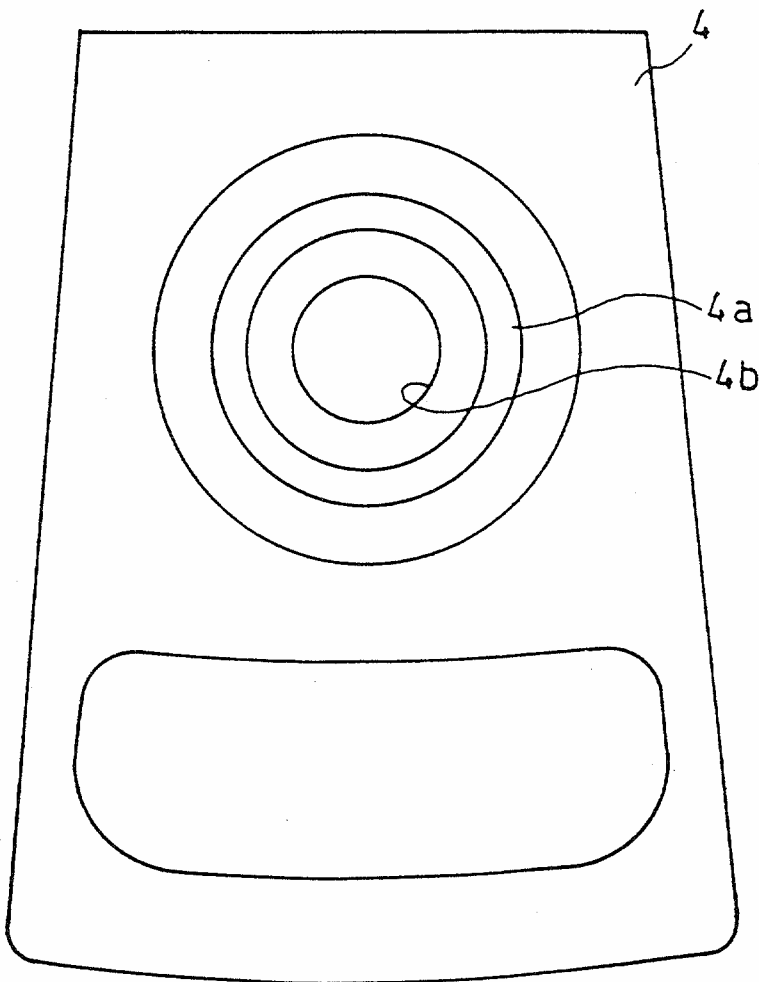
ンジャー 6 b が接合されている。シリンダ 6 c の上面付近および底面付近には、上部吸排気口 6 d および底部吸排気口 6 e がそれぞれ設けられている。

また、容器保持部 4 a に装着された押出容器からソフトクリーム状食品を押し出すときに、押出容器の周縁部を容器保持部 4 a の外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が押出容器の周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ 6 f が、駆動ロッド 6 a の下方部位にて押圧部材 5 を囲うように配されている。この蓋押さえ 6 f は、スプリング 6 g を介して駆動ロッド 6 a の中央部付近から吊設されている。

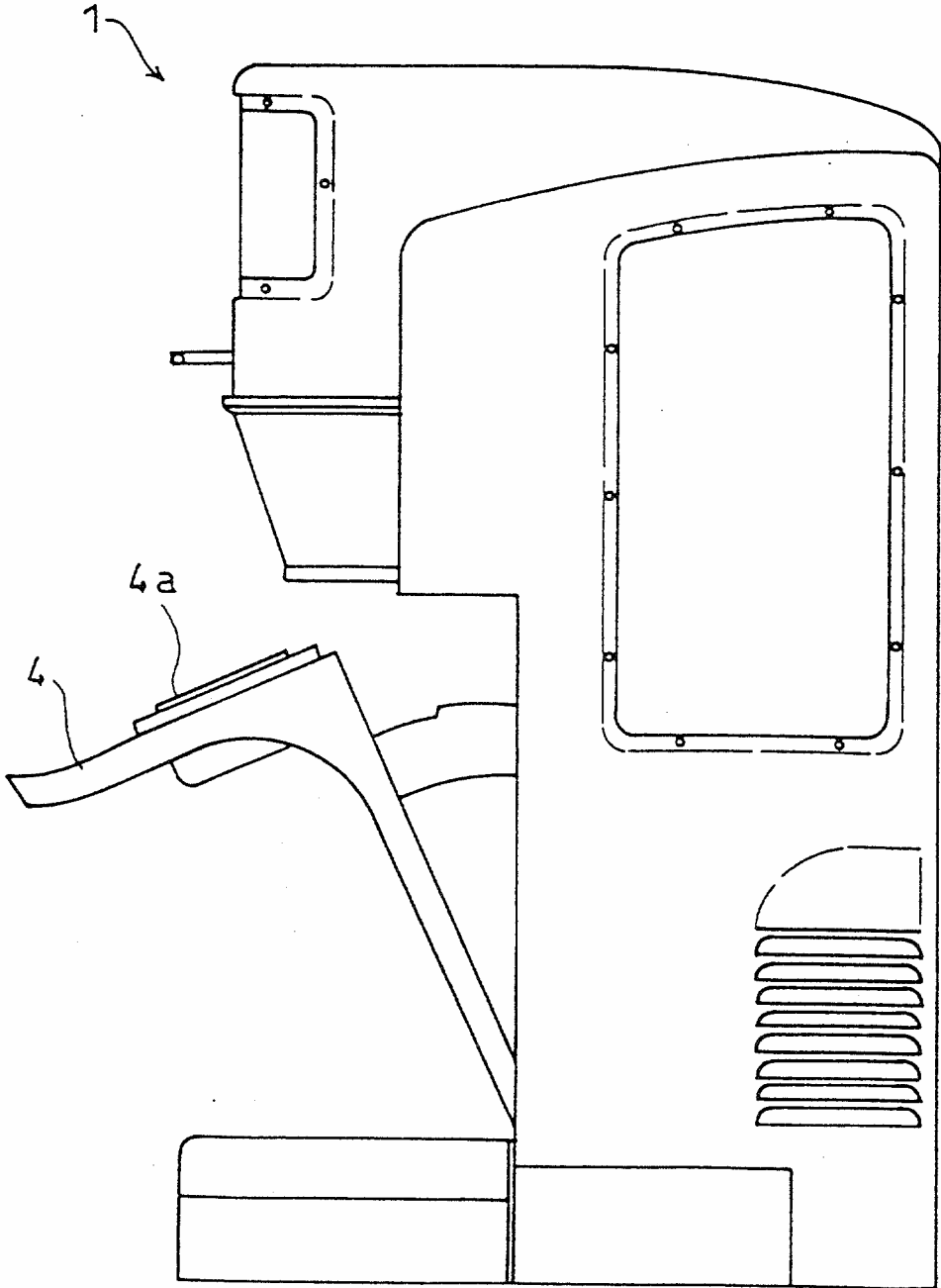
第 1 圖



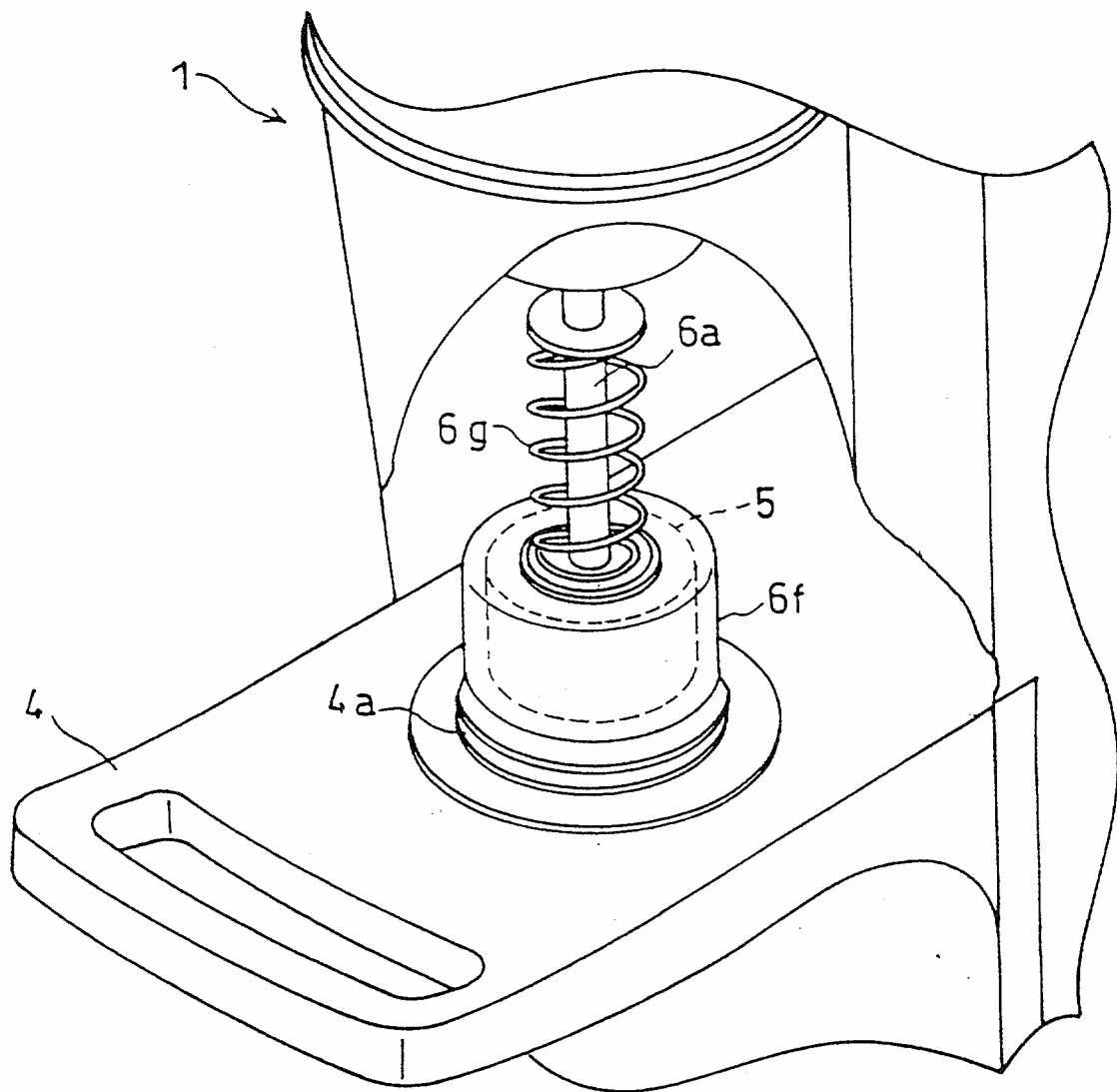
第 2 图



第 3 图

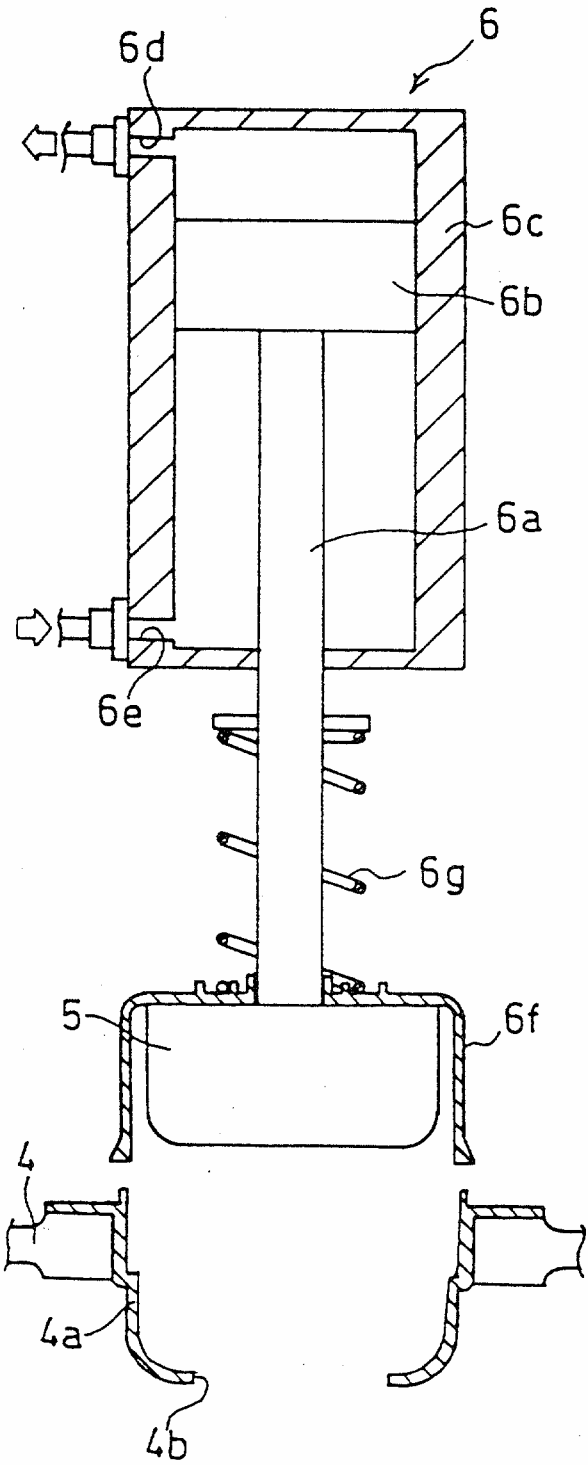


第 4 图

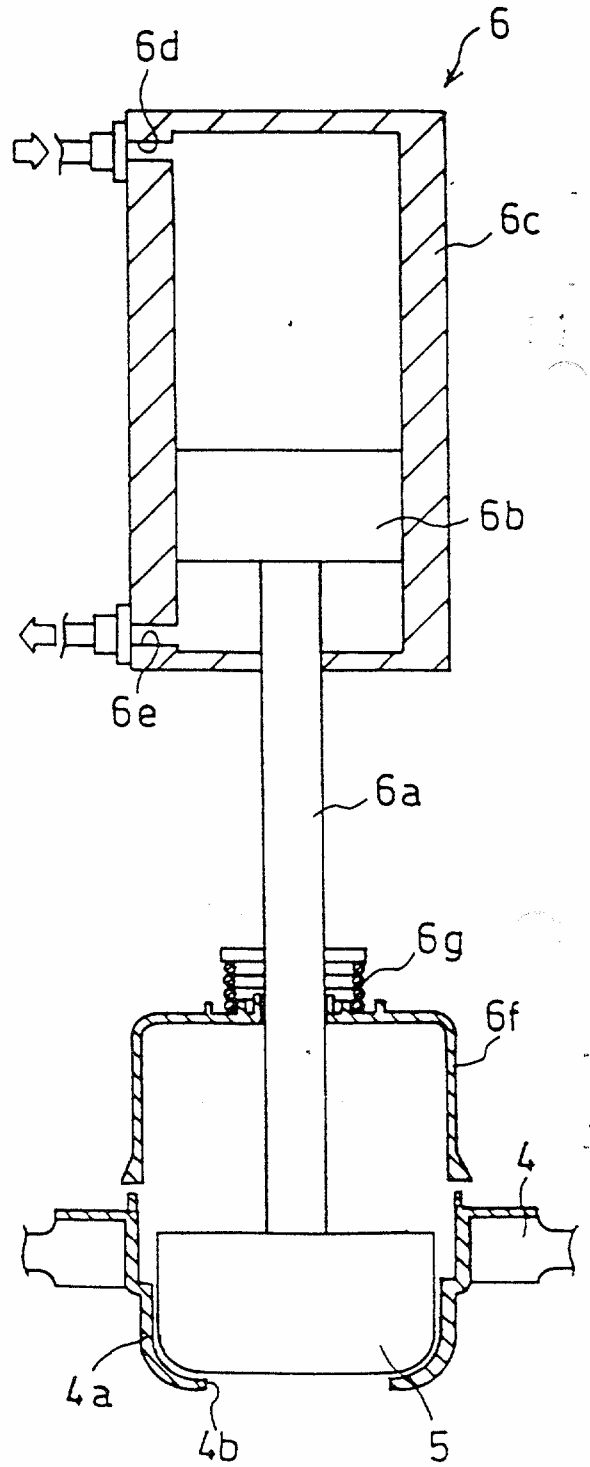




(a)



(b)



## イロ号参考図説明書

### 一 図面の簡単な説明

第1図は、ソフトクリーム状食品用サーバー1の外観を示す斜視図である。

第2図は、一回量ずつのソフトクリーム状食品を充填するための押出容器2の構造を示す縦断面図である。

第3図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に、前記押出容器2を装着して保持するための容器保持部4aが設けられた孔付水平台4を示す平面図である。

第4図は、前記ソフトクリーム状食品用サーバー1に対し前記押出容器2を着脱するために、前記孔付水平台4を前傾させた状態を示す側面図である。

第5図は、前記孔付水平台4の容器保持部4aの上方に対置された押圧部材

5を示す破断部を含む要部拡大斜視図である。

第6図(a)および第6図(b)は、前記押圧部材5を上下動させる駆動部6の構成と、押圧部材5の動作とを概略的に示す要部説明図である。

## 二 構成の説明

(1) ソフトクリーム状食品用サーバー1は、押出容器2に充填されたソフトクリーム状食品を喫食用容器3内へ押し出すための装置であり、小分け押出容器入りソフトクリーム状食品を保持する孔付水平台4(第1図)と、該孔付水平台4の上方に位置する押圧部材5(第5図および第6図(a)(b))とを備えている。

(2) 前記押出容器2は、可塑性樹脂の成形品であり、底面中央部に排出口2aが形成された本体2bと、本体2bに嵌着される蓋板2cと、排出口2aを外側から塞ぐ補助蓋板としての貼付シール2dとで構成されている(第2図)。

また、押出容器2には、喫食用容器3に盛り付けるソフトクリーム状食品

の一回分量が充填されている。

(3) 前記孔付水平台4には、押出容器2の外形に即した凹部形状を有する容器保持部4aが設けられている。容器保持部4aの底部中央には、押出容器2の排出口2aから押し出されたソフトクリーム状食品を排出する押出食品通路4bが形成されている(第3図および第6図(a)(b))。

これにより、押出容器2を容器保持部4aに装着することによって、孔付水平台4は、押出容器2からソフトクリーム状食品を喫食用容器3内へ押し出す間、押出容器2を定位置に保持することができる。

また、孔付水平台4は、容器保持部4aを水平姿勢に保つ通常位置と、通常位置から一定角度前傾した前傾位置との間で、往復回動可能な構成となっている。これにより、孔付水平台4を前傾させると、容器保持部4aがソフトクリーム状食品用サーバー1外に露出するので、容器保持部4aに対して押出容器2を着脱することができる(第4図)。

なお、容器保持部4aに押出容器2を装着する前に、前記貼付シール2d

を本体 2 b から剥がしておく。

(4) 前記押圧部材 5 は、前記通常位置にある孔付水平台 4 の上方であって、容器保持部 4 a に対向する位置に同心状態で配され、容器保持部 4 a に対して垂直方向に沿う上下動を行い得るように構成されている。また、押圧部材 5 は、前記本体 2 b の内側形状に適合した凸形状を有している。

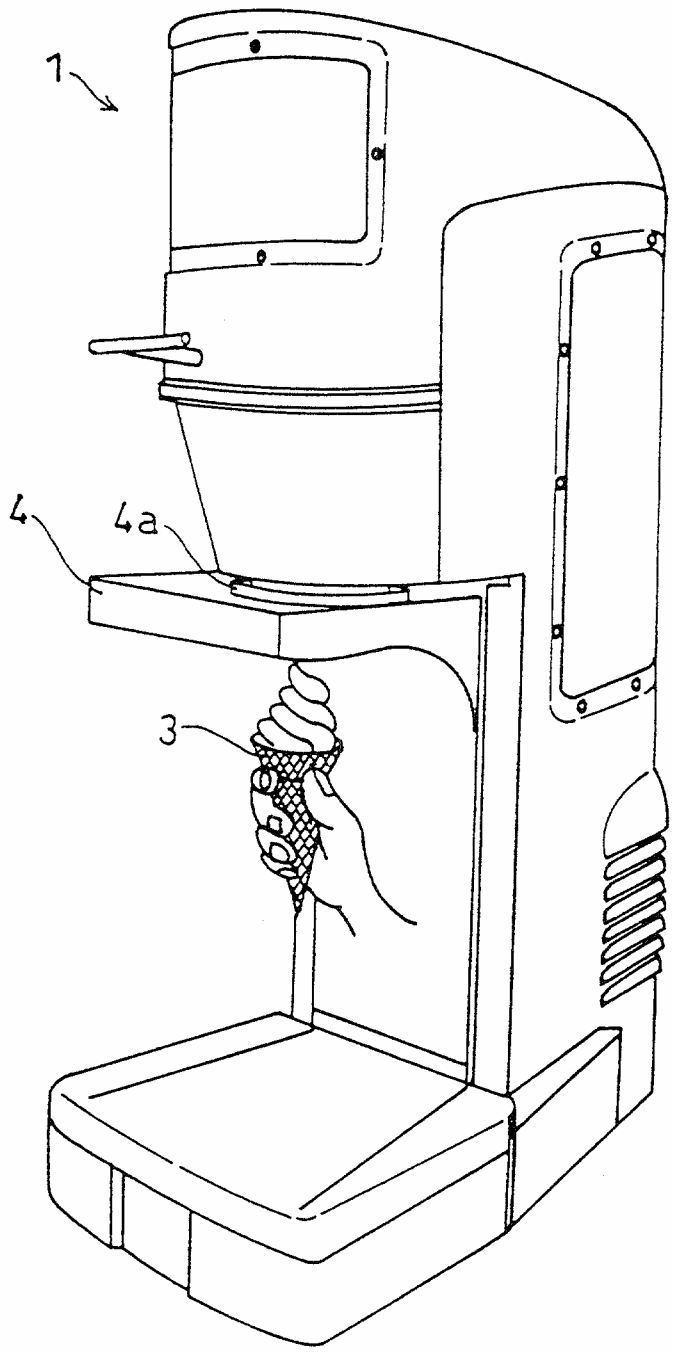
これにより、孔付水平台 4 と押圧部材 5 の垂直方向に沿う相対的接近運動の一形態として、押圧部材 5 が下降すると、押圧部材 5 の下面が押出容器 2 の蓋板 2 c に当接する。さらに、押圧部材 5 が下降すると、蓋板 2 c は押圧部材 5 と一体になって本体 2 b 内に押し込まれるため、押出容器 2 の内容積が圧縮される（第 6 図 (b)）。この結果、ソフトクリーム状食品は、押出容器 2 の圧縮に伴って、押出容器 2 の排出口 2 a および容器保持部 4 a の押出食品通路 4 b を通過し、下方で待機していた喫食用容器 3 内に押し出される。

(5) なお、押圧部材 5 を上下動させる駆動部 6 は、駆動ロッド 6 a、プランジヤ 6 b およびシリンダ 6 c を備えている。駆動ロッド 6 a は押圧部材 5 の

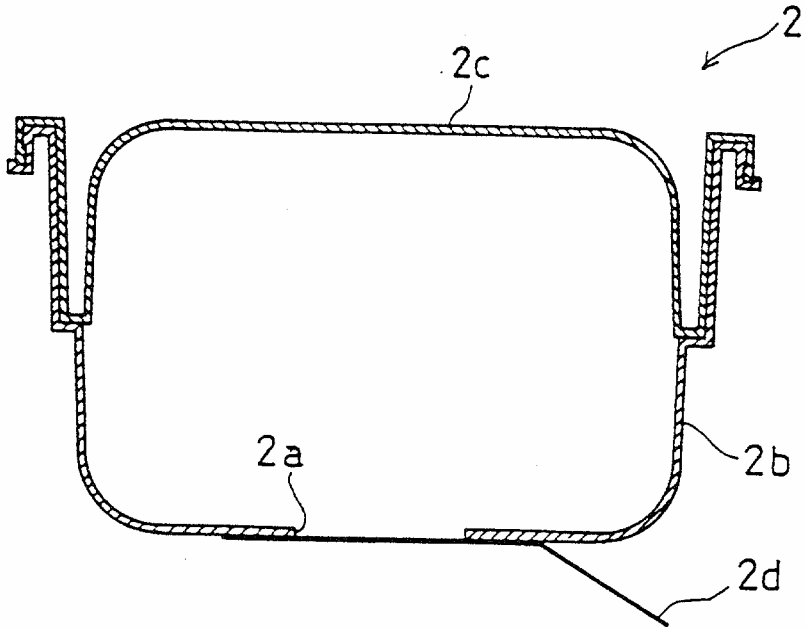
中心から容器保持部 4 a に対して垂直上方に延び、シリンダ 6 c 内に嵌入している。また、駆動ロッド 6 a の上端には、シリンダ 6 c 内で滑動するプランジャー 6 b が接合されている。シリンダ 6 c の上面付近および底面付近には、上部吸排気口 6 d および底部吸排気口 6 e がそれぞれ設けられている。

また、容器保持部 4 a に装着された押出容器 2 からソフトクリーム状食品を押し出すときに、蓋板 2 c の周縁部を容器保持部 4 a の外周部に押し付けることで、ソフトクリーム状食品が蓋板 2 c の周縁部から漏出するのを防止するスカート状の蓋押さえ 6 f が、駆動ロッド 6 a の下方部位にて押圧部材 5 を囲うように配されている。この蓋押さえ 6 f は、スプリング 6 g を介して駆動ロッド 6 a の中央部付近から吊設されている。

第 1 圖  
(參考圖)

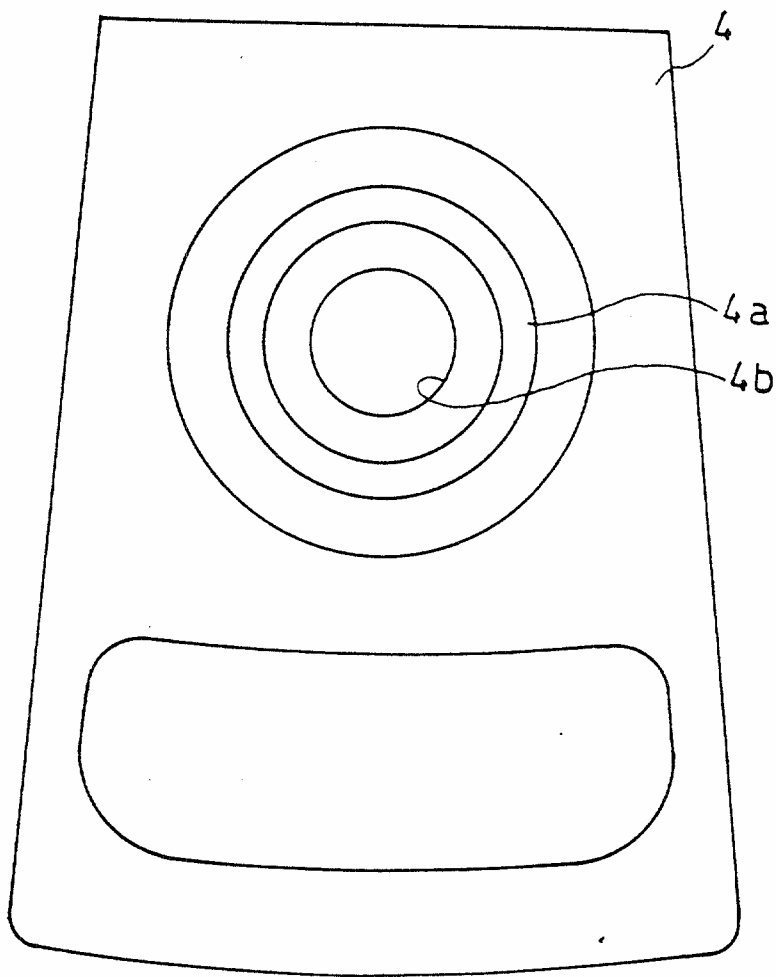


第 2 图 (参考图)

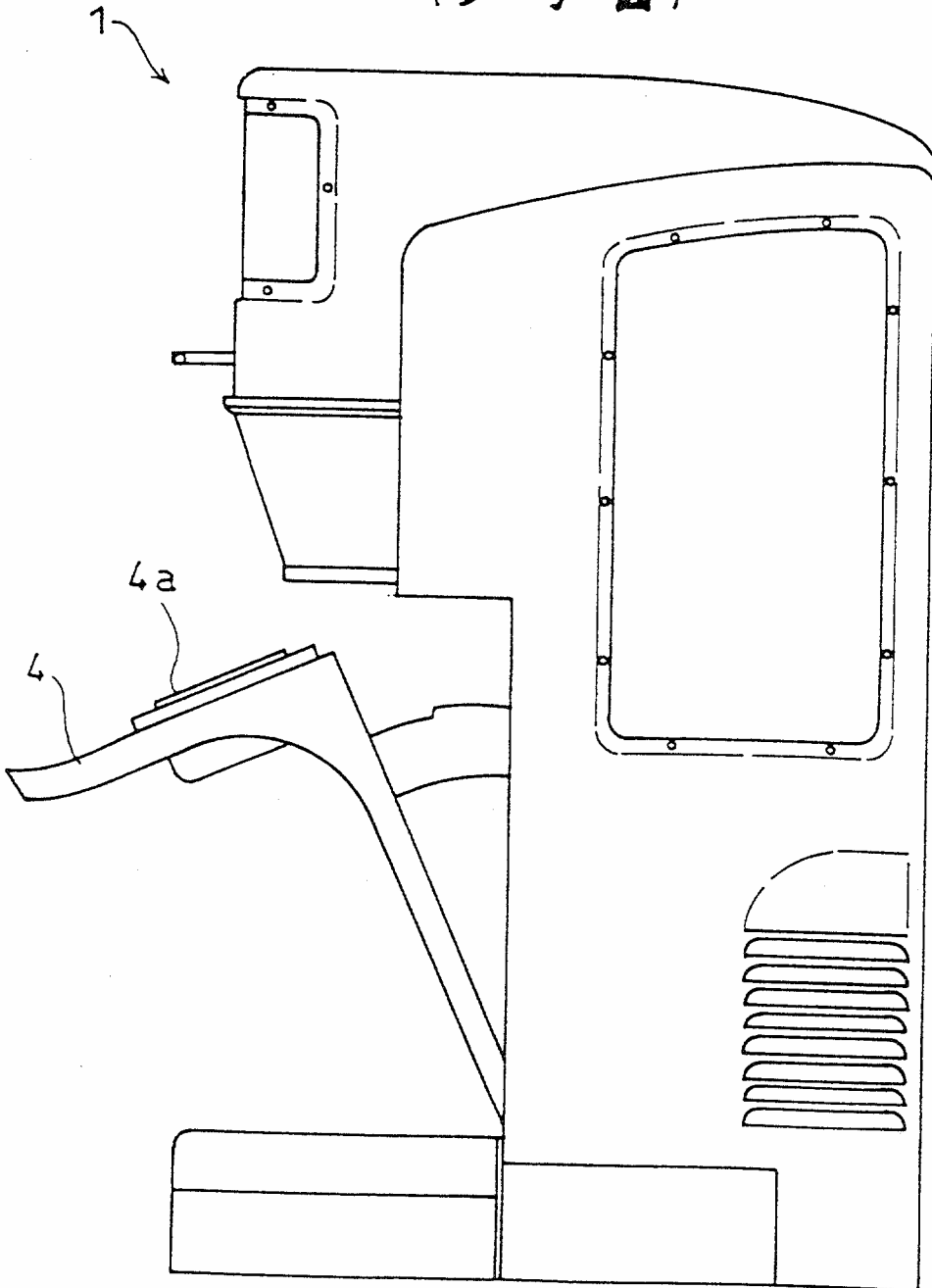




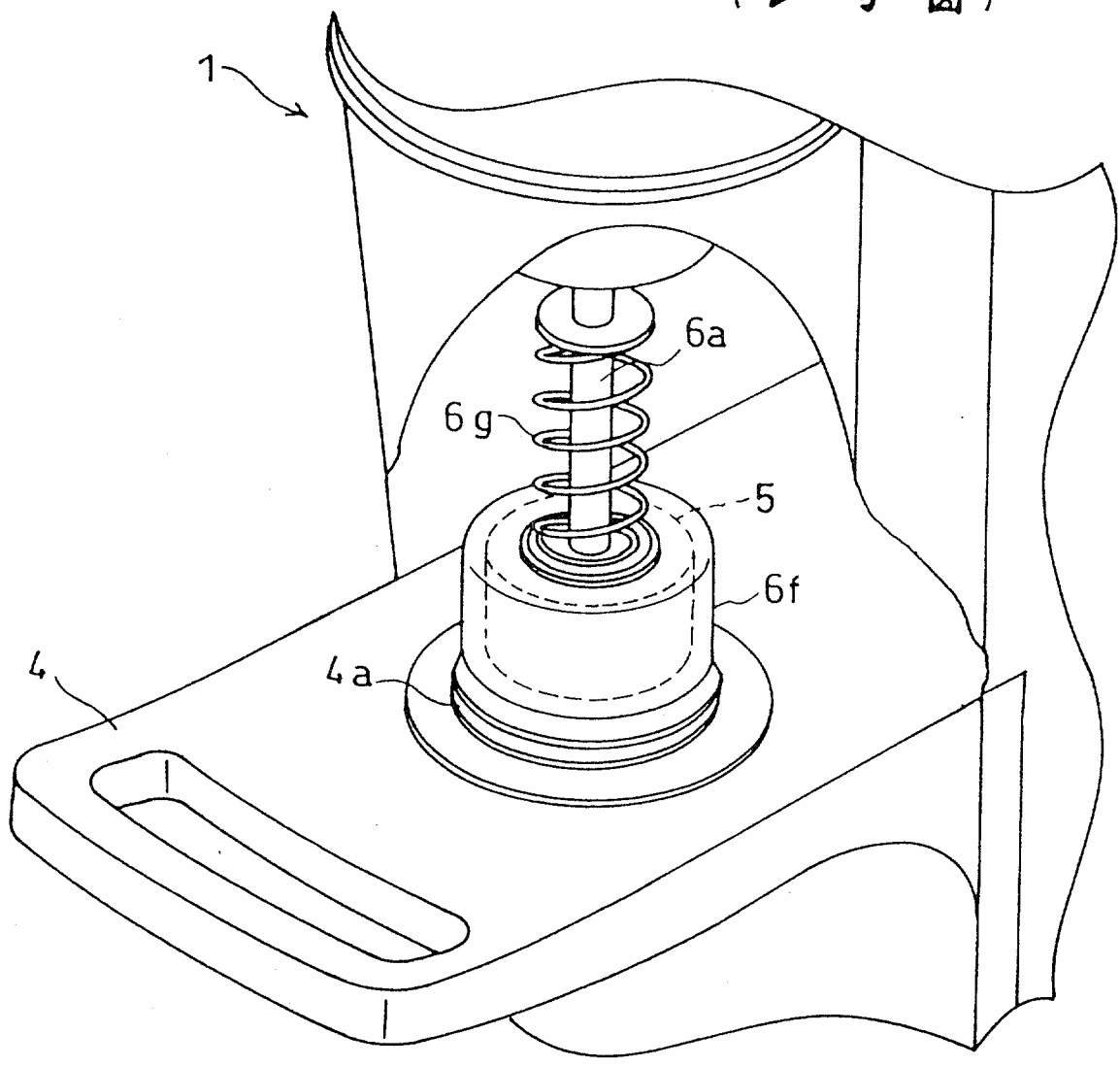
第 3 图 (参考图)



第 4 图  
(参考图)



第 5 圖 (參考圖)



第 6 圖

